

日 時：平成 29 年 5 月 11 日（木）18 時 30 分～19 時 50 分

場 所：苗生松多目的集会所

対象地区：苗生松・西の平

参加人数：14 名

■意見交換

内 容
<p>○苗生松上東田館田線の拡幅等について</p> <p>(市民から)</p> <p>苗生松上東田館田線の苗生松多目的集会所の十字路から 90 m にかけては昨年度拡幅し、新たに側溝を入れてもらったおかげで、道幅としては 1 m 近く広がった。しかし、冬場の除雪に関しては拡幅される前と変わっていない。車のすれ違いも大変である。また、集会所前の十字路に「止まれ」の標識があるが、標識が道路側にあるせいで除雪がうまくできずに雪が残ってしまい、道幅が狭くなっている。できれば標識を路肩の方へ移してほしい。</p> <p>この付近の道路については、子どもたちの通学路にもなっているため、なんとか拡幅できないものか。また、あるお宅の前の曲がり角は、道幅が狭く、「くの字」になっているので、車が出合い頭に衝突することが頻繁にある。今まで子どもたちが事故に巻き込まれたことはないが、危険なので拡幅してほしい。</p> <p>(市から)</p> <ul style="list-style-type: none">・苗生松上東田館田線については、かなり前から道路拡幅の要望があり、昨年度、集会所の十字路から 90 m にわたって片側を整備した。今後は、もう片側の整備を検討していきたい。また、この付近の道路については、交通量も少なく工事の経費もかかることから、道路の拡幅は困難だと考えている。ただし、所々の待避所の設置は検討しているので、今後は町会と一緒に現場を確認しながら設置場所を協議していきたい。・事故が頻繁に起きている「くの字」の道路については、子どもたちが通学しているとのことなので、もう一度現場を確認してみる。・除雪については、業者に対して指導していく。また、「止まれ」の標識は、現場を確認の上、移設を検討していく。 <p>(市民から)</p> <p>三笠苑の近くに住宅地ができたことで子どもたちが通学する際に使っている。学校には大通りを通るように要望しているらしいが、こちらの方が近道であるため子どもたちが使っている。</p> <p>(市から)</p> <p>学校と協議の上、通学路として正式に認定されれば道路の拡幅も検討していかなけれ</p>

ばならないと考えている。

○市営住宅の入り口等について

(市民から)

市営住宅の改修工事により、入り口に新しいコンクリートが敷かれたが、雨が降ると4号棟と5号棟のコンクリート部分が滑って転倒している人がいる。滑りづらいコンクリートにしていただけないか。

また、駐車場については、1世帯1区画という条件で入居してもらっているが、今の時代は1世帯で複数車を所有していることが多く、駐車場に関するクレームが増えている。現在は空きスペースなどを利用し対応しているが、市からも指導等を行っていただきたい。

(市から)

- ・市営住宅の4号棟と5号棟の入り口については、現場を確認の上、必要な措置を講じる。
- ・駐車場については、空きスペースを活用しながら町会の方で上手く調整していただきたい。今後、車の台数が増えていくようであれば、市からも入居者の方をお願いしていく。

○空家対策について

(市民から)

苗生松の町会には、現在10軒くらいの空家がある。そのうち3、4軒は状態が悪く、1階が潰れたり壁が崩壊したりして野良猫が住み着いているような空家もある。消防署へ相談したこともあるが、消防では事故になれば対応するが、事故になる前は市役所に相談してほしいと言われた。空家対策について、何かよい解決策などはないか。

(市から)

- ・空家に関しては、昨年度市内の状況について調査を実施し、その結果、家屋の空家は市内全域で465軒であった。市としては、屋根のトタンが飛んで危険な場合など応急的な対応はできるが、基本的には個人の所有物なので、すべての空家を市が撤去することはできない。空家の問題に関しては、良い解決策がないのが現状である。
- ・苗生松町会については、昨年度調査した結果、現在市で管理している空家は8軒となっている。そのうち、あるお宅については、これまでも市から飛散防止策を講じるよう依頼していたが、先日トタンの一部が剥離して道路に落下したほか、残りのトタンも剥離するのは時間の問題である。そこで、市では昨日本人と面会し、早急に飛散防止策を講じるようお願いした。その結果、本人は「7月までには対応する」と回答したため、今後も状況を見守りながら指導していくこととしている。また、その他の空家についても所有者に対して適切な管理に努めるよう指導していく。

・ 今後は、空家の解体や利活用した所有者への支援策も検討していきたい。

○平賀駅前案内板について

(市民から)

先日、平賀駅前に行った際に市外から来た方が市役所への道順がわからずに困っていた。駅前に市役所やねふた展示館などの案内板を設置したほうがいいのではないか。

(市から)

・ 盛美園や猿賀公園などでは、海外から来た方ための案内板の設置を進めている。平賀駅前にも設置することを検討したい。

○防災無線の不具合について

(市民から)

防災無線から午前 11 時 30 分と午後 5 時に市民歌などのチャイムが流れているが、たまに音が途切れて連続して聞くことができない。他の町会の状況はわからないが故障ではないのか。

(市から)

・ この症状は他の町会からも報告されており、連絡があった町会については現在修理を進めている。今後修理箇所等を調査した上で対応する。

(市民から)

防災無線の読み上げのスピードが非常に遅くて聞き取りづらい。特に言葉と言葉の間の空白時間が長く、放送が終わったのか続いているのかわからないことがある。他の町会の放送も聞こえるが、苗生松町会の放送が特に遅い。なんとかならないものか。

(市から)

・ 読み上げのスピードが速いと聞き手が内容を理解しづらい。言葉と言葉の空白時間は、他町会の放送の音が重ならないようにするために設けている。苗生松町会が特に遅いのかは後ほど調査の上、回答する。

○ごみ集積所の修繕について

(市民から)

4 月中旬にごみの集積所の屋根修繕の助成について要望書を提出した。先日市民課に問い合わせたところ「現在調査中であり、結果がまとまらなければわからない」と回答があった。いつごろになれば結果がわかるのか。

(市から)

- ・市では各町会に対して、集積所の更新や修繕の要望調査を3月から実施し、締め切りを5月末までとしている。現時点では、8町会から28カ所の集積所の更新や修繕の要望が出されている。今後はすべての要望が出揃った段階で、緊急性や老朽度の高いものから予算の範囲内で更新や修繕を行うこととしている。
- ・集積所の更新や修繕については、昨年度から要望の受け付けを行っており、予算の範囲内で少しずつではあるが対応している状況である。

○ハグメグ応援事業について

(市民から)

苗生松町会からハグメグ支縁員が1名出ているが、市内全体では何名いるのか。また、ハグメグ支縁員の具体的な活動内容を教えてほしい。

(市から)

- ・ハグメグ応援事業については、今年度から新たに始まった婚活事業の一つで、各町会や企業などに支縁員を設置し、未婚の男女の出会いの場や結びつきを支援していくものである。簡単に言えば昔の仲人みたいなものであり、支縁員は現時点で20人となっている。今後はもっと増やしていきたいと考えている。

○労働組合の結成状況等について

(市民から)

市内で働く若い世代からは、給料が安くて結婚できないとの意見をよく聞く。市から市内の企業に対して給料を上げるように指導などはできないのか。また、給料が安い理由として、企業内に労働組合が結成されていないことも一つの原因であると考えられる。労働組合を結成している企業数や給与の実態などは把握しているのか。

(市から)

- ・社員の給料については、企業内の経営に関わることなので、市の方から給料を上げるように指導することは難しい。
- ・市内企業の給与の実態や組合の結成状況は把握していない。
- ・連合青森に加入している市内の労働組合の数は把握できるが、すべてが加入しているとは限らないので、正確な数値はすぐにはわからない。民間企業への介入は難しい部分も多々あるので、意見として受け止めておく。